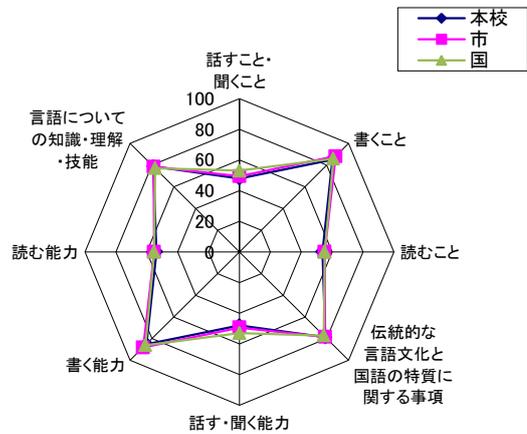


宇都宮市立横川西小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

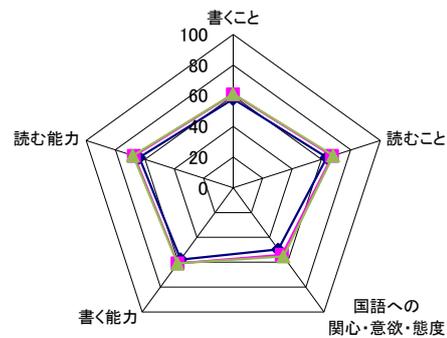
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	47.9	49.3	53.0
	書くこと	85.1	88.2	86.0
	読むこと	53.7	55.2	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.8	78.5	77.2
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	47.9	49.3	53.0
	書く能力	85.1	88.2	86.0
	読む能力	53.7	55.2	55.2
	言語についての知識・理解・技能	78.8	78.5	77.2



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	57.8	60.9	61.1
	読むこと	63.8	67.4	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	49.7	54.0	55.4
	話す・聞く能力			
	書く能力	57.8	60.9	61.1
	読む能力	63.8	67.4	68.1
	言語についての知識・理解・技能			



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 国語の授業が、将来、社会に出た時に役に立つと考えている児童が多い。
- 読書好で、授業でも段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる児童が多い。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と答えた児童は少ない。
- 「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いている」と答えた児童は少ない。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●「聞き方の説明として適切なものを選択する」に対する正答率が低い。	・今回、本領域に関する出題は1問であったが、学年の実態として、特に筋道立てて話すことに困難を感じている児童も多い。学年全体で様々なテーマを用いた朝のスピーチを行い、それに対して感想等を伝え合う活動を年間を通して行っていく。このことにより、伝え合う喜びを実感しながら目的に応じて主体的に話す力、聞く力を育てていきたい。
書くこと	○「説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する」に対する正答率が高い。 ●「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」に対する正答率が低い。 ●「文章と図を関係付けて自分の考えを書く」の正答率が低い。	・国語科の授業の中で、6年生は5単元「書くこと」の領域の学習がある。これらの学習と、スピーチ原稿・文集原稿・新聞原稿等を書くことを織り交ぜ、書く機会を多く設けることで、論理的に書く力や創造的に書く力、情報を活用して書く力などを伸ばす。
読むこと	○「目的に応じ、中心となる語や文をとらえる」の正答率が高い。 ○「目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える」の正答率が高い。 ●「新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉える」の正答率が低い。	・読書活動の様子から、物語読書が好きな児童が多く、物語については読解力が高まってきていると言える。一方、コラムや説明文などは読みなれない児童も多いので、様々な分野へと読書活動を広げ、比べ読みや自分の考えを深めることへとつなげていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「漢字の読み・書き・主語と述語の照応関係を捉える」の正答率が高い。	・漢字練習や漢字チャレンジに学年全体で今後も継続的に取り組んでいく。今後は「漢文を読んでみよう」や「いにしへの言葉に学ぶ」などの単元が計画されているので、これらの学習と社会科の歴史学習とを横断的に学ぶことにより、更に伝統的な言語文化に親しめるようにする。